

2021年4月期決算説明会資料

インスペック株式会社 2021年6月10日



東証二部上場

(証券コード:6656)

目次

- 会社概要 3
- 決算概要 6
- 財務ハイライト 15
- 第34期売上利益計画 16
- インспекの成長戦略 17

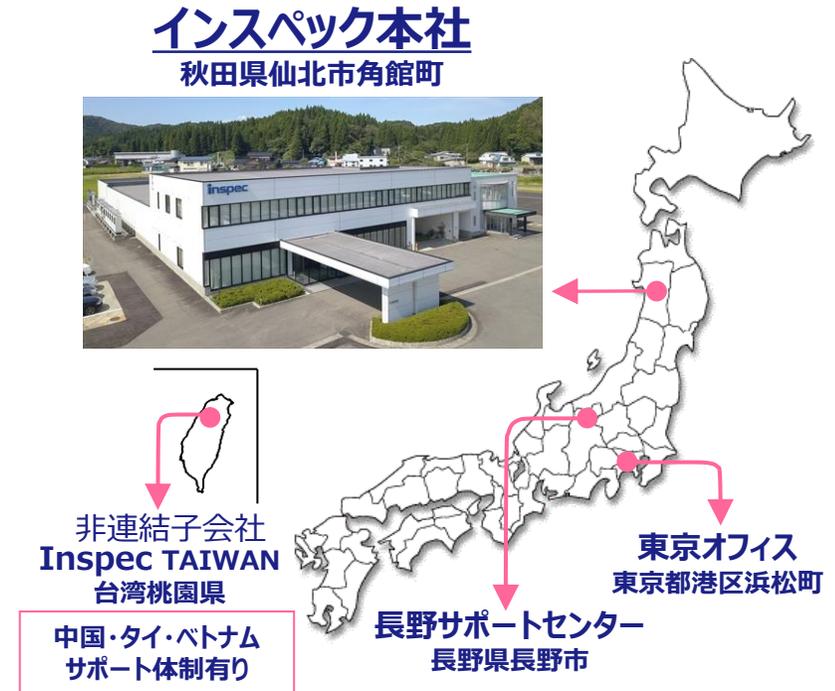


会社概要

インスペック株式会社

インスペックの概要 (2021年4月30日現在)

商号	インスペック株式会社
本社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創業	1984年（昭和59年）1月
上場市場	東京証券取引所市場第二部
代表者	代表取締役社長 菅原 雅史
主な事業	電子回路基板（半導体パッケージ基板・FPC等）の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販売・サービス
従業員	72名
資本金	1,140百万円
発行済株式数	3,790,300（単元株数：100株）
株主数	5,469名



インスペックの歴史

20th Century

21th Century



昭和59年
太洋製作所創業

昭和63年
(有)太洋製作所設立

平成3年
新社屋建設

平成9年
通産省
「新規事業法」認定
(第83号)

下請け事業
撤収

2000

平成13年1月1日
インスペック株式会社
に社名変更



平成18年
東京証券取引所
マザーズ市場へ上場
本社工場増築

平成29年
東京証券取引所
市場第二部へ市場変更

2016

2019

2017

新製品!

ロールtoロールDI
RD3000発表



1984
カセットテープ
レコーダー向け
磁気ヘッド
組み立て

1988

SONYハンディカム
の磁気ヘッド
組み立て

1989

FAシステムの
設計製造受託開始



1990

1991

1995

検査装置第1号
リードフレーム検査装置
MV7000発表



第2世代
リードフレーム検査装置
LF2000発表
ロングセラ―製品



2001

BGA検査装置
BF8000発表
ロングセラ―製品



2003

COF検査装置
TR3000発表
シェアトップとなる



2006

ハイエンドPKG基板AOI
SX5000発表
CPU向けPKGに対応



FPC向けロールtoロールAOI
RA7000発表



上半期は苦戦。年度後半から商談活発化。受注も回復傾向。

- 上半期：米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響大
 - 商談の長期化。受注低迷。
 - 海外納入予定の完成済み装置に出荷時期の遅延が発生（第3四半期途中から徐々に解消）
 - 下半期：新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復の兆し
 - 中国企業向け引き合い、商談が再開。受注活動に持ち直しの動き。
 - ロール to ロール型検査装置等の大型受注獲得（4月）
 - First EIE SA譲渡（4月）
- 非連結決算への移行（2021年4月期期末決算より）

2021年4月期 業績ハイライト（個別）

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響から受注活動が停滞。完成済み装置出荷遅延も発生。
- ▶ 下期、主力となるロール to ロール型検査装置等の大型受注獲得。

■ 損益計算書サマリー

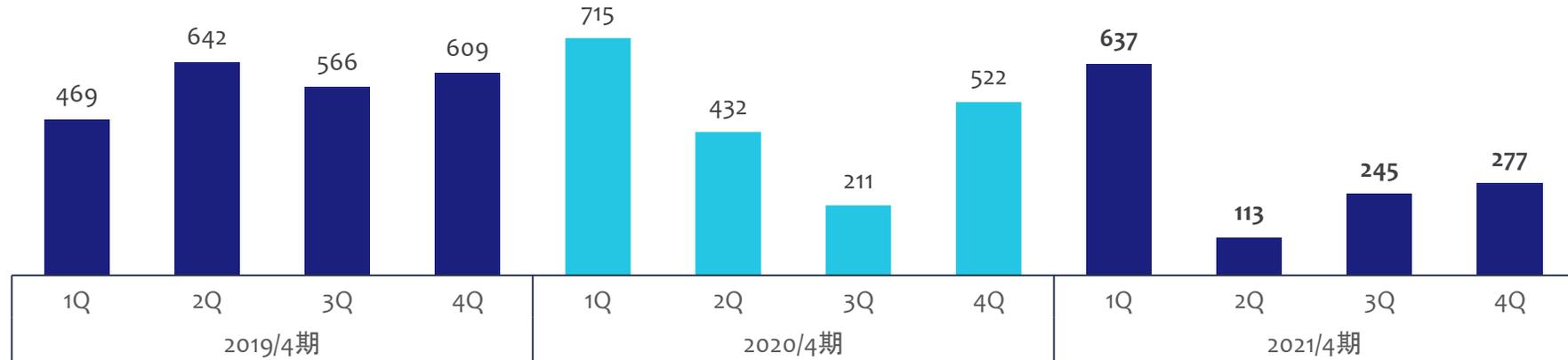
（単位：百万円）

	2021年4月期	2020年4月期	前期比	増減率
売上高	1,273	1,881	△608	△32.3%
営業利益	△277	149	△426	—
経常利益	△310	212	△522	—
当期純利益	△1,195	173	△1,368	—

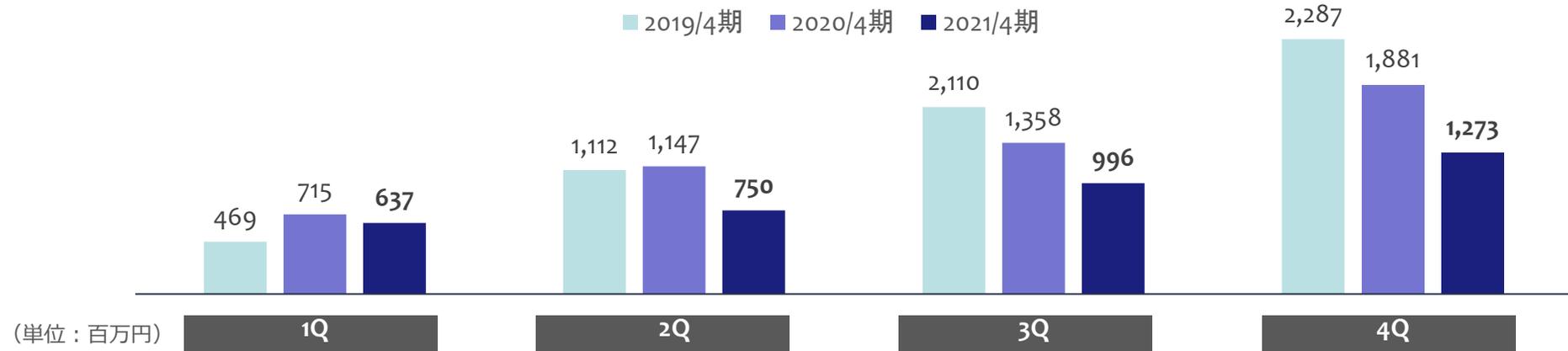
※ 連結除外に伴い、2021年4月期期末より非連結決算へ移行いたしました。

四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移

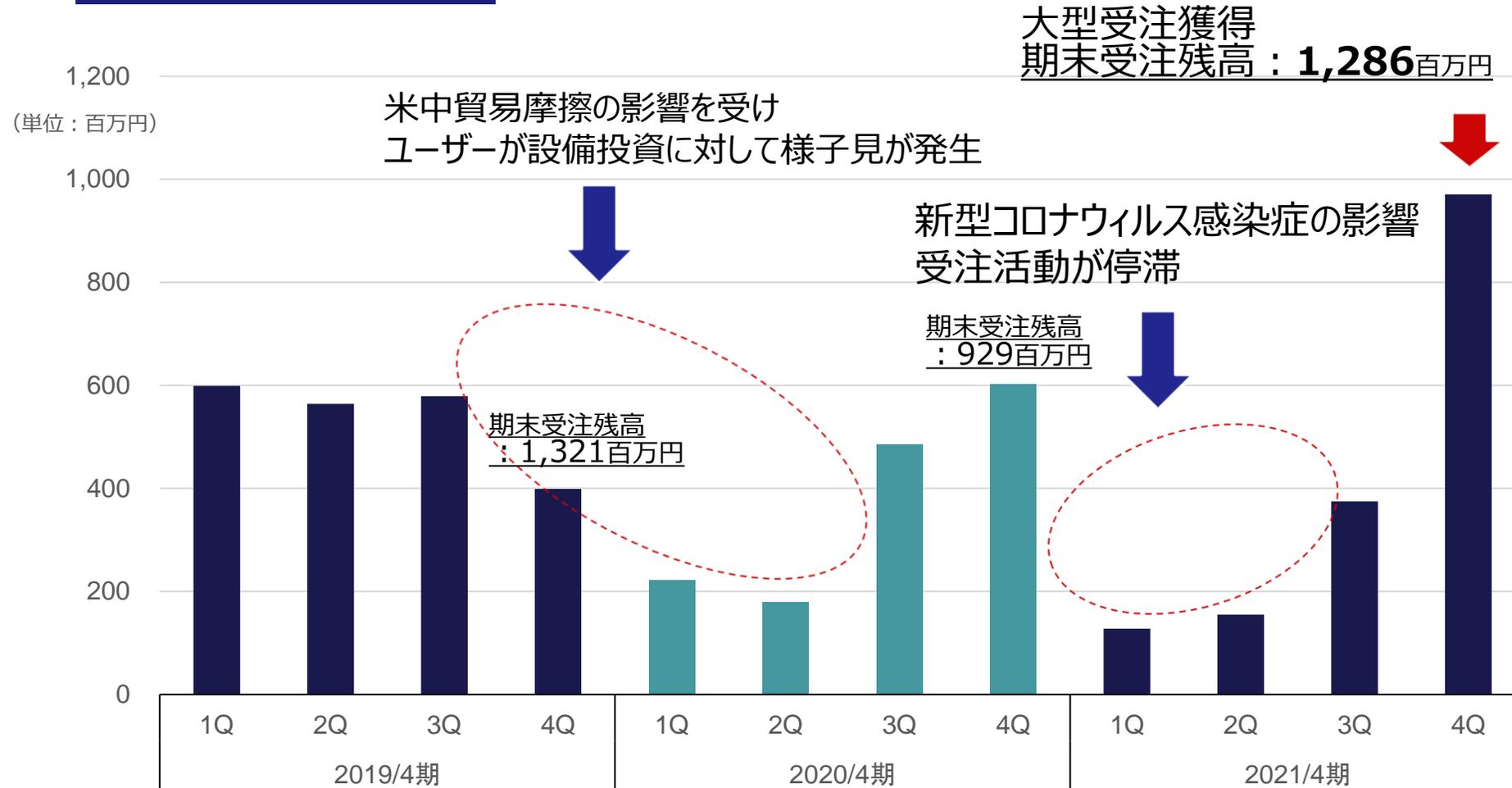


売上高比較



受注高推移（個別）

四半期毎の受注高推移



大型受注獲得（4月）

ロール to ロール型検査、高性能フラットベッド型検査装置合計約4.8億円

【背景】

5 Gをはじめとする情報通信技術の発展や、リモートワークの急拡大によりパソコンやスマートフォンの需要が増加するなど、半導体業界は活況を呈する中、**当社検査装置の性能及び当社のサポート力**がユーザー様から高く評価されました。



ロール to ロール型検査装置
海外企業より複数台受注

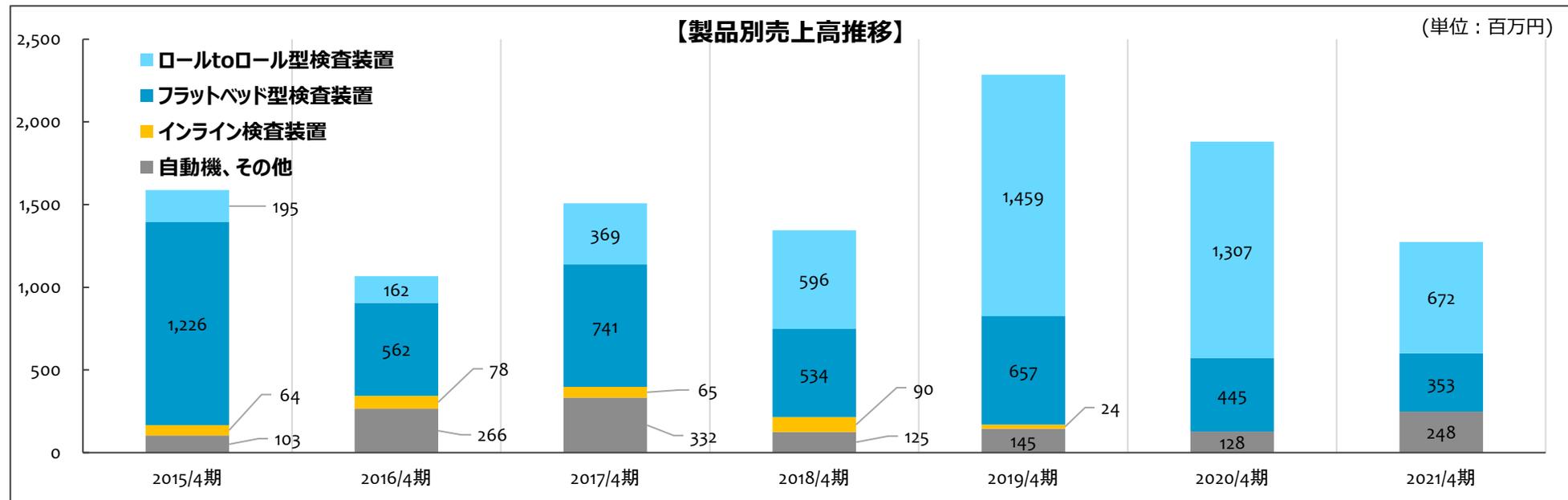
※ 当該案件は2022年4月期の納入（売上計上）を予定



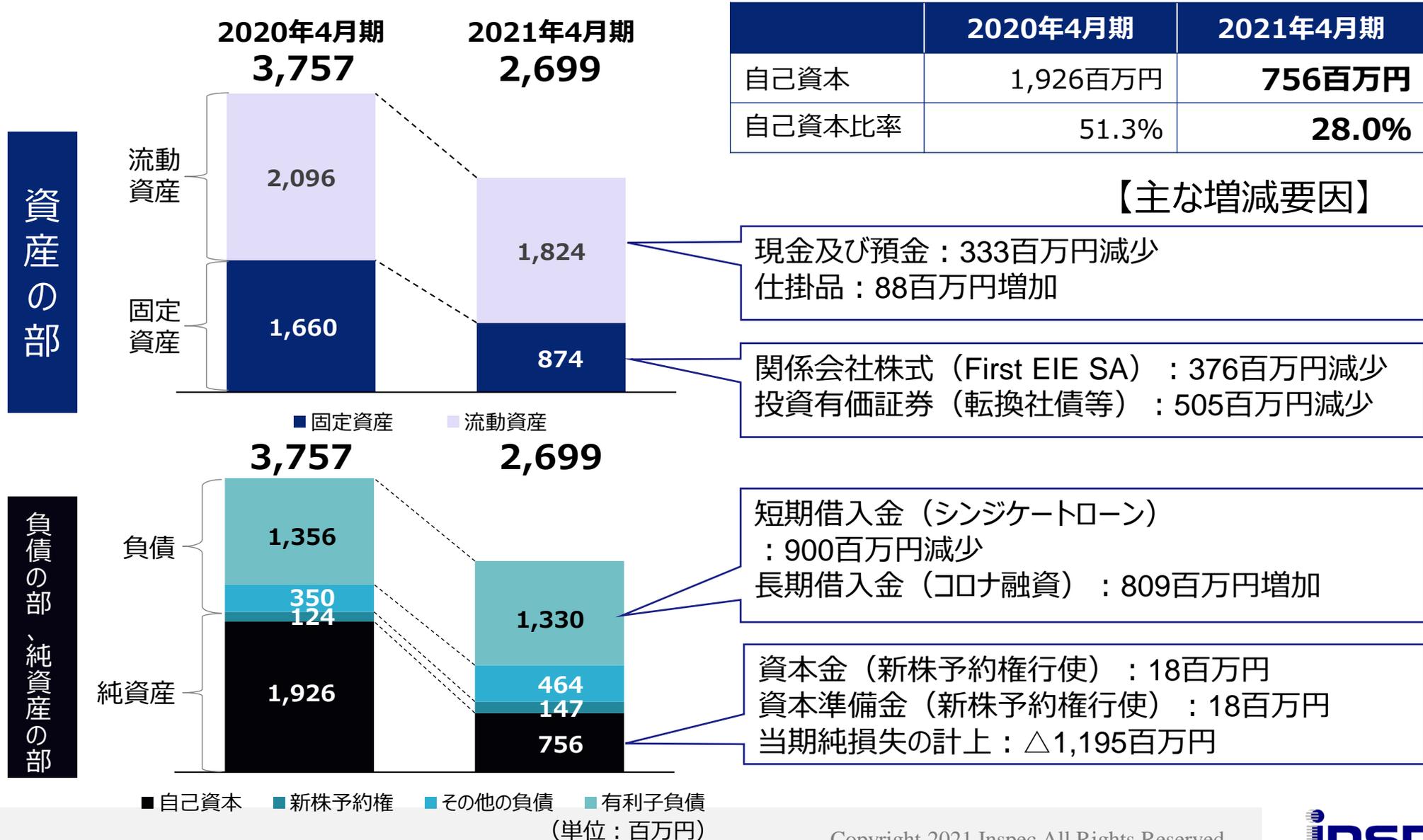
高性能フラットベッド型検査装置
国内企業より受注

製品別売上高

	2021年4月期		2020年4月期		前年同期比 増減率
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	
■ 売上高合計	1,273	100.0%	1,881	100.0%	△ 32.3%
■ ロール to ロール型検査装置	672	52.7%	1,307	69.5%	△ 48.6%
■ フラットベッド型検査装置	353	27.7%	445	23.7%	△ 20.6%
■ インライン検査装置	—	—	—	—	—
■ 自動機・その他	248	19.6%	128	6.8%	93.3%

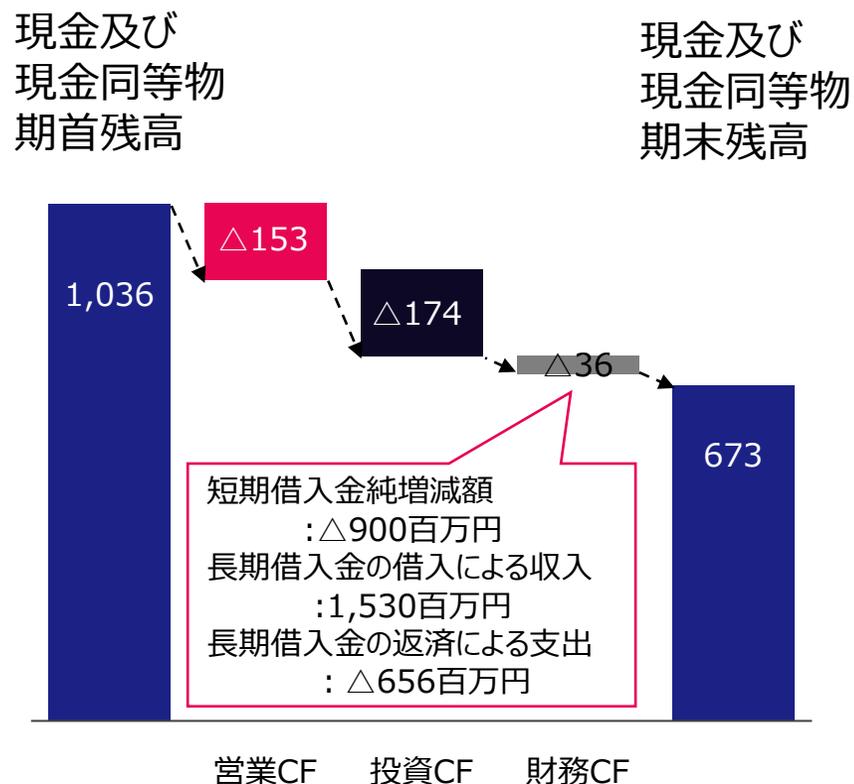


要約貸借対照表



要約キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物 363百万円の減少



(単位: 百万円)

	2021年4月期
期首現金及び現金同等物残高	1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	△153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174
フリーキャッシュ・フロー	△327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36
現金及び現金同等に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額 (減少△)	△363
期末現金及び現金同等物残高	673

研究開発費

	2021年4月期		2020年4月期		対前年 増減率
	金額（百万円）	対売上比	金額（百万円）	対売上比	
半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置関連事業、 ロールtoロール型シームレス直描露光機事業	179	14.0%	146	7.7%	+22.9%

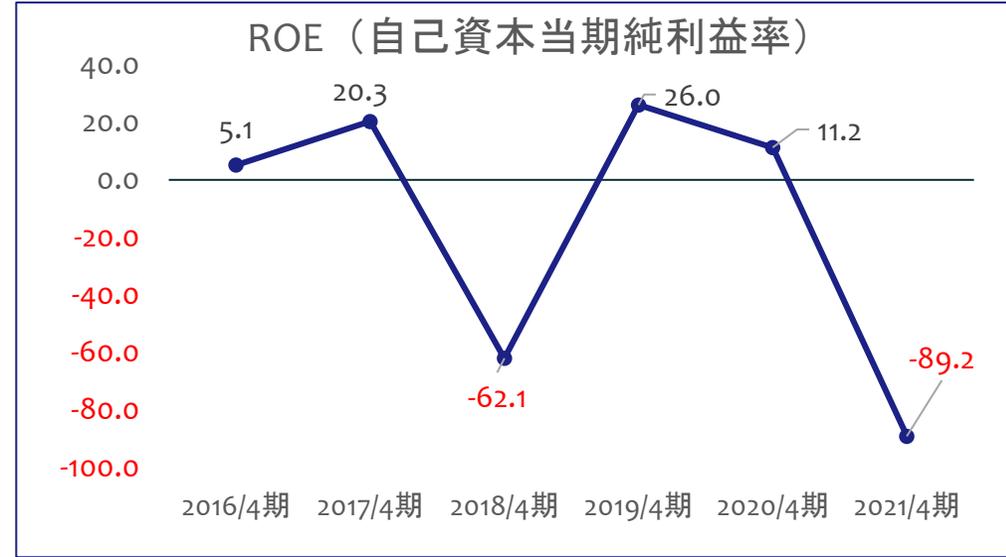
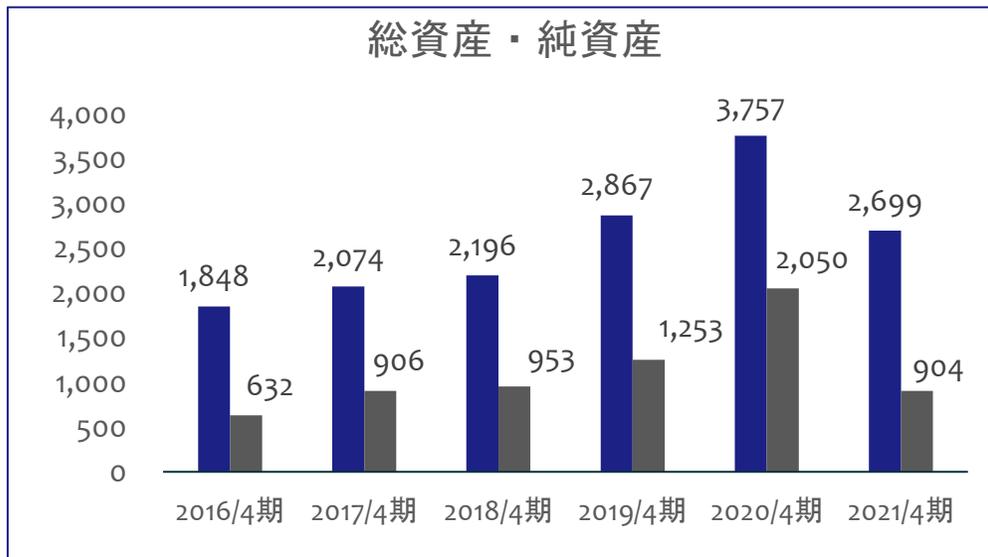
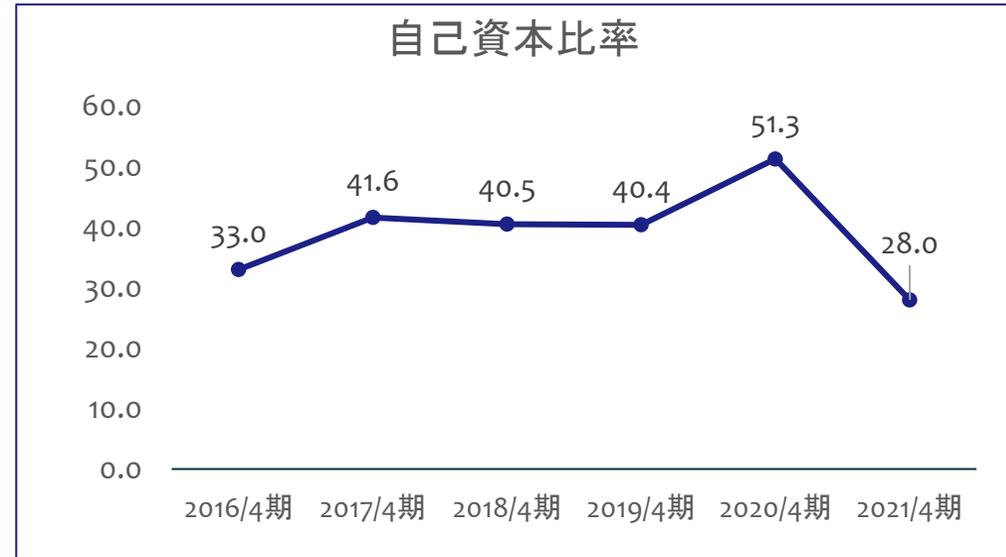
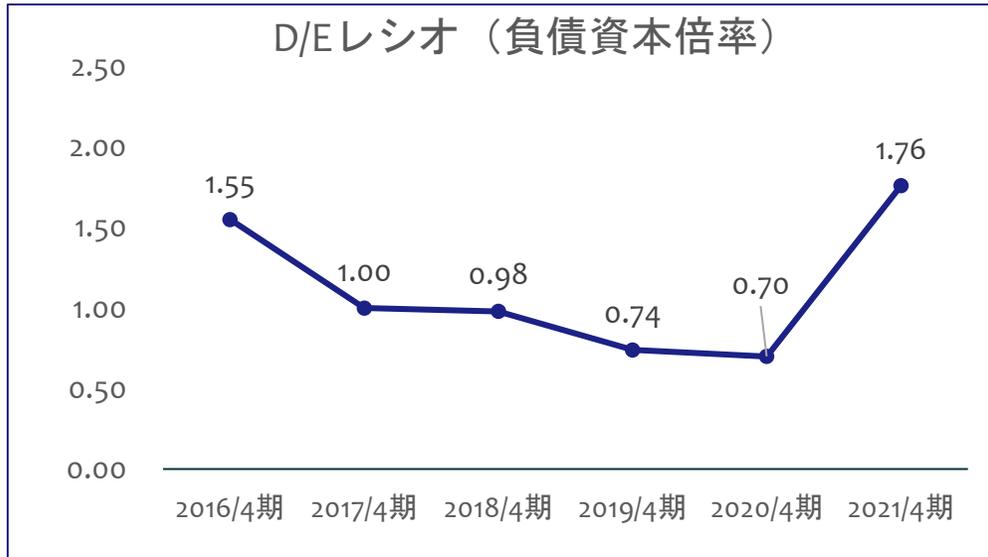
◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

- ・ロール to ロール向け画像処理システム、高速インライン検査システム等の開発
- ・AIを活用した欠陥分類システムの開発

◆直描露光機事業

- ・ロール to ロール型シームレスレーザー直描露光機の開発（次世代機）

財務ハイライト（個別）



2022年4月期 通期売上利益計画

(単位：百万円)

	2022年4月期 計画	2021年4月期 実績	前期比増減	増減率
売上高	2,300	1,273	+1,027	80.6%
営業利益	80	△277	+357	—
経常利益	200	△310	+510	—
当期純利益	170	△1,195	+1,365	—

◆重点課題

- ✓ 検査装置・露光装置：海外市場において、自動車分野への積極攻勢
- ✓ 差別化：コストダウンを断行し、品質・コスト・サポートで徹底した差別化
- ✓ 人材育成：若手育成強化と世代交代の加速

インスペックの成長戦略



CASE

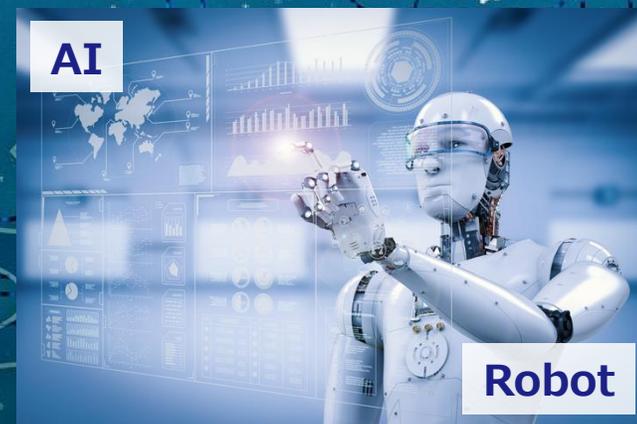
IoT

5G

ICT

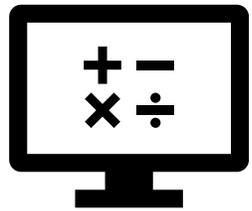
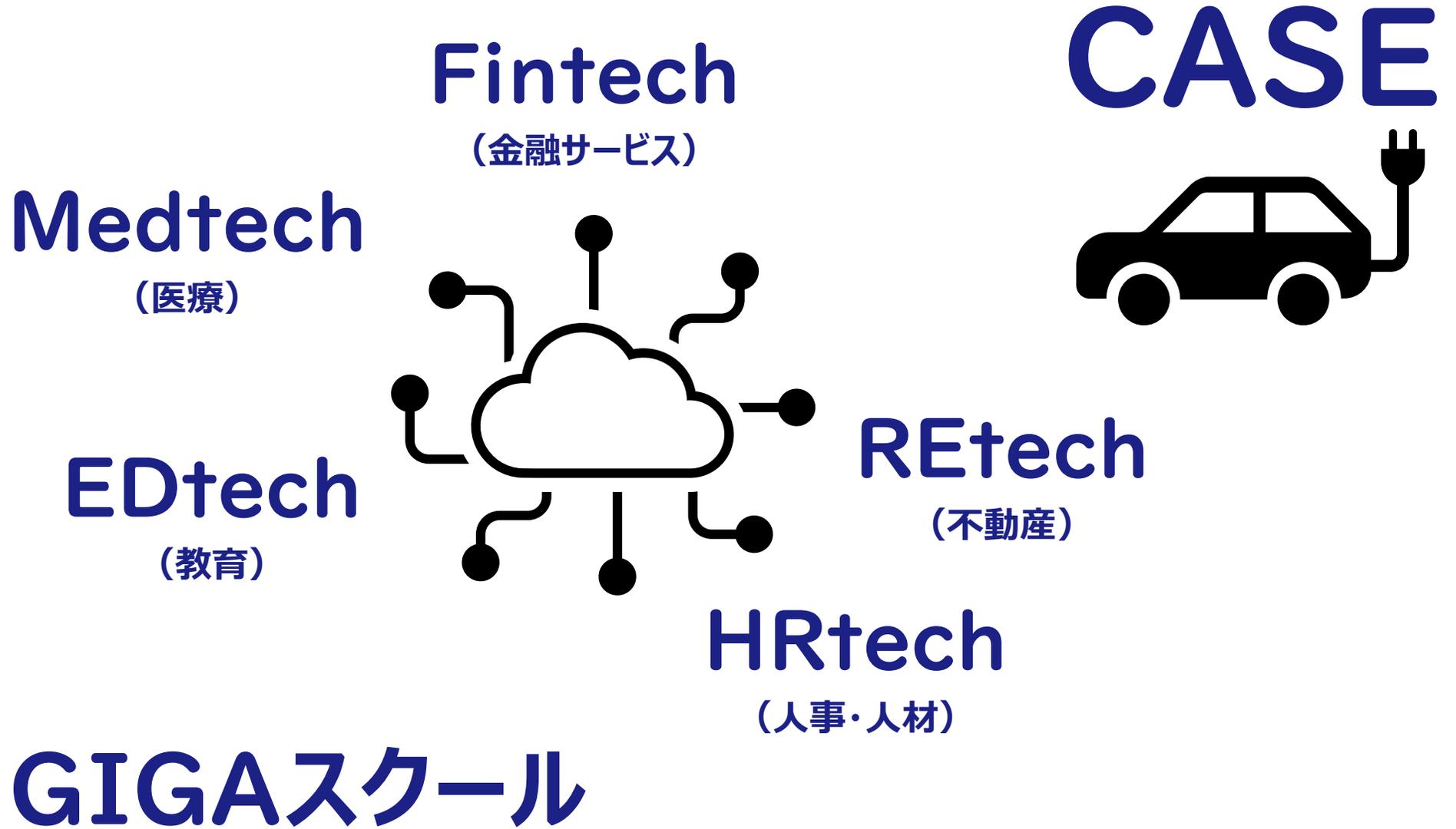


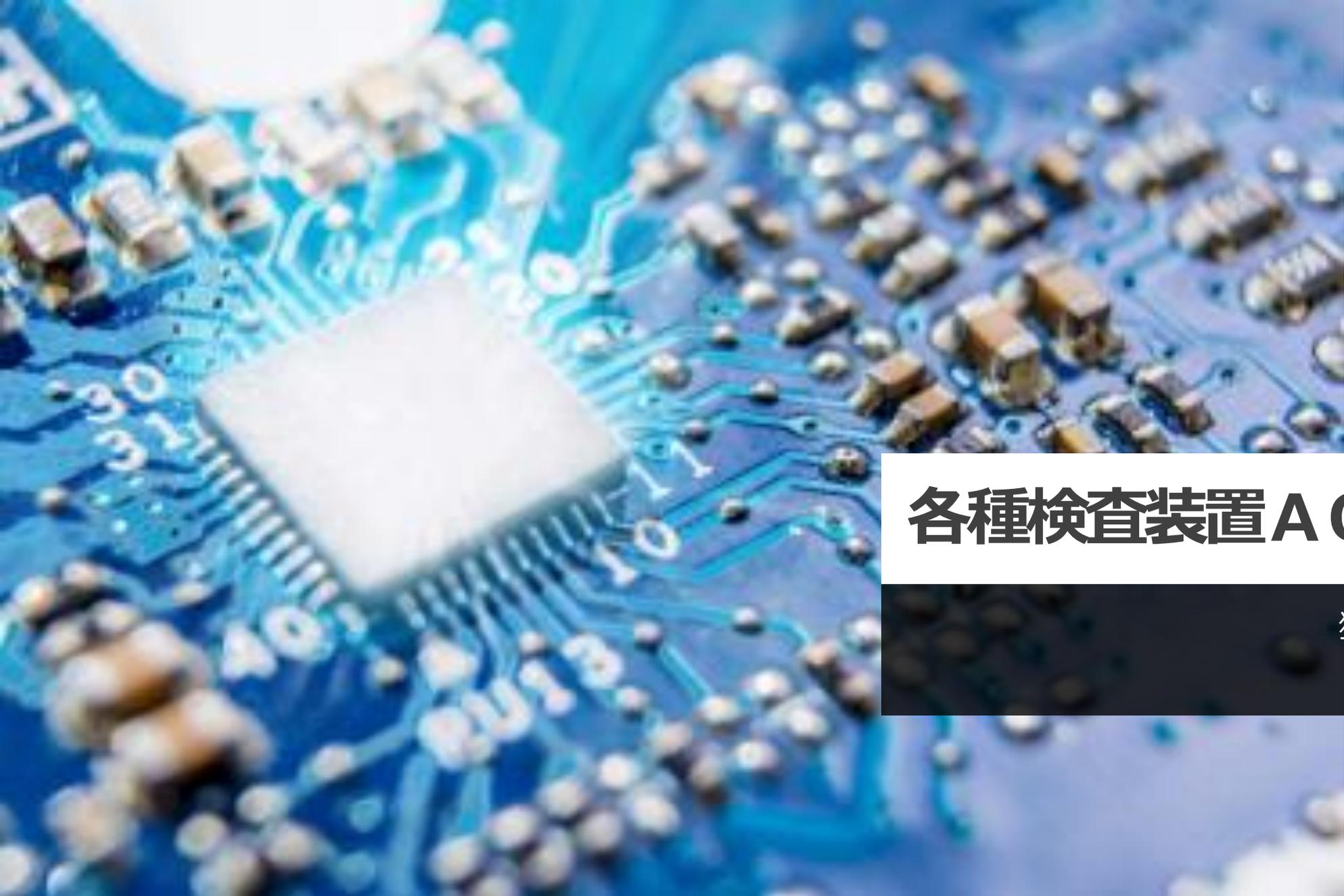
あらゆるものがつながる時代



AI

Beyond コロナ 加速するDX

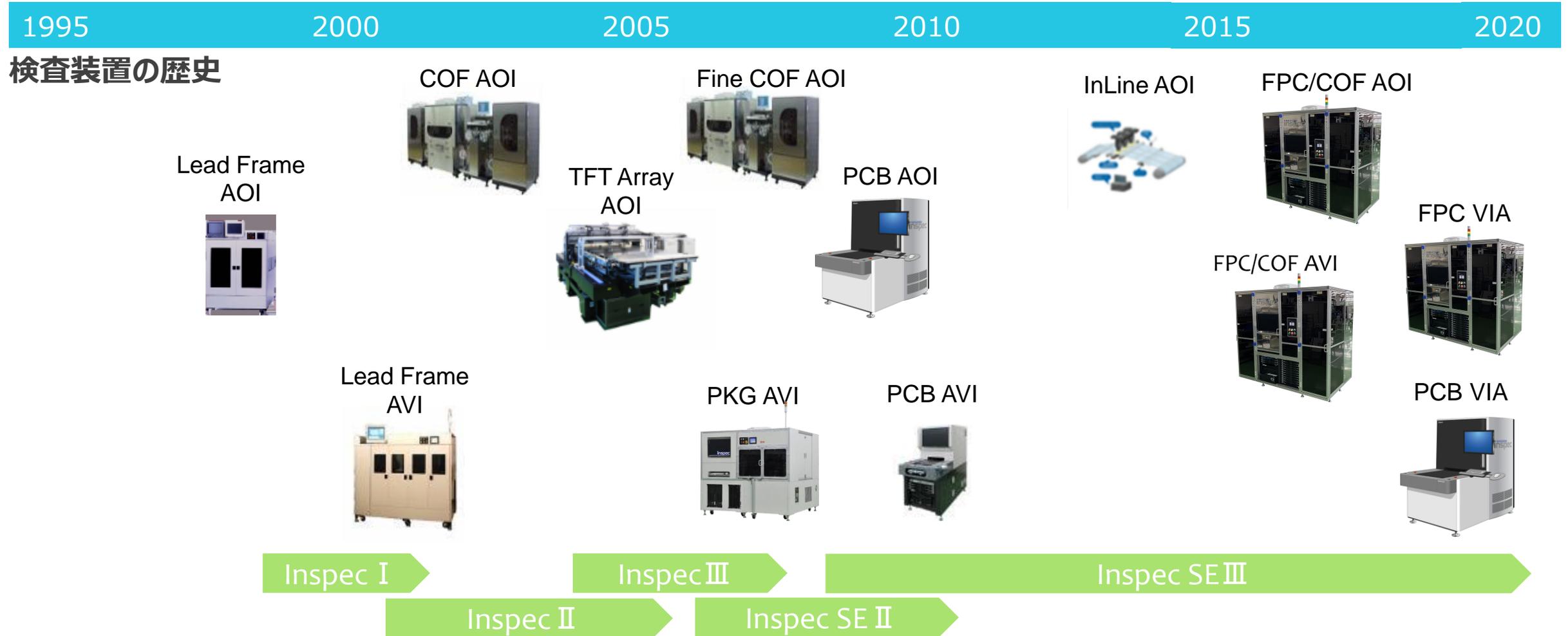




各種検査装置AOI/AVI

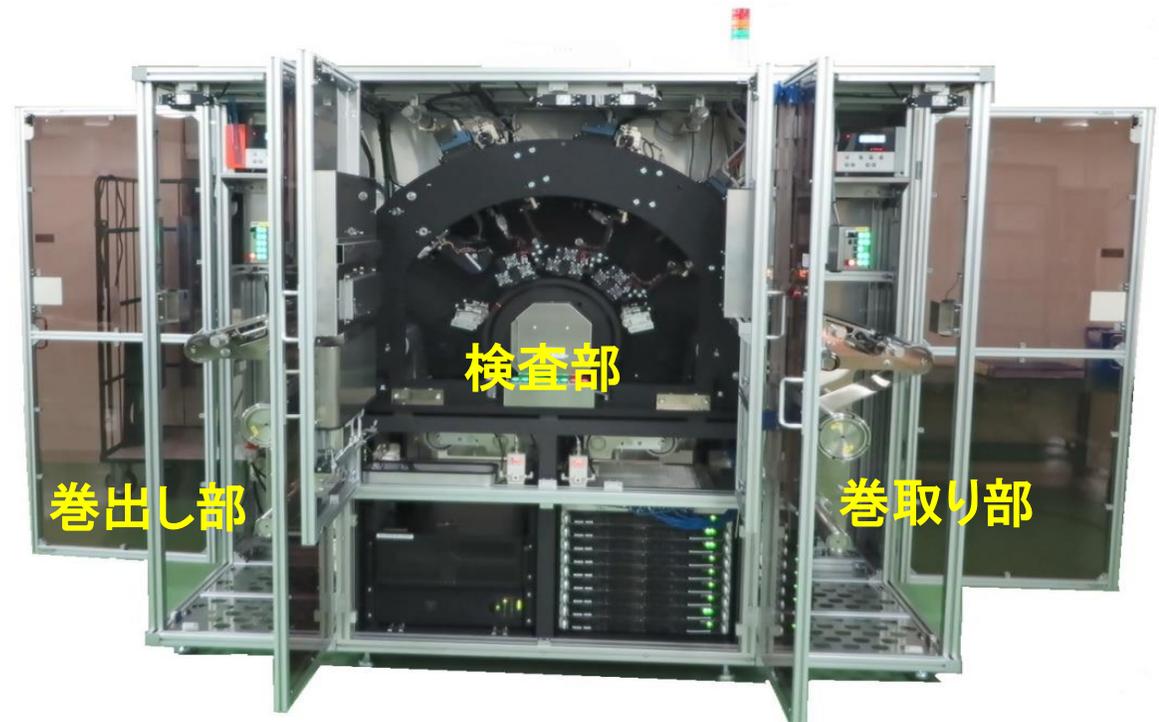
独自開発の画像処理技術

Inspec 検査装置のご紹介



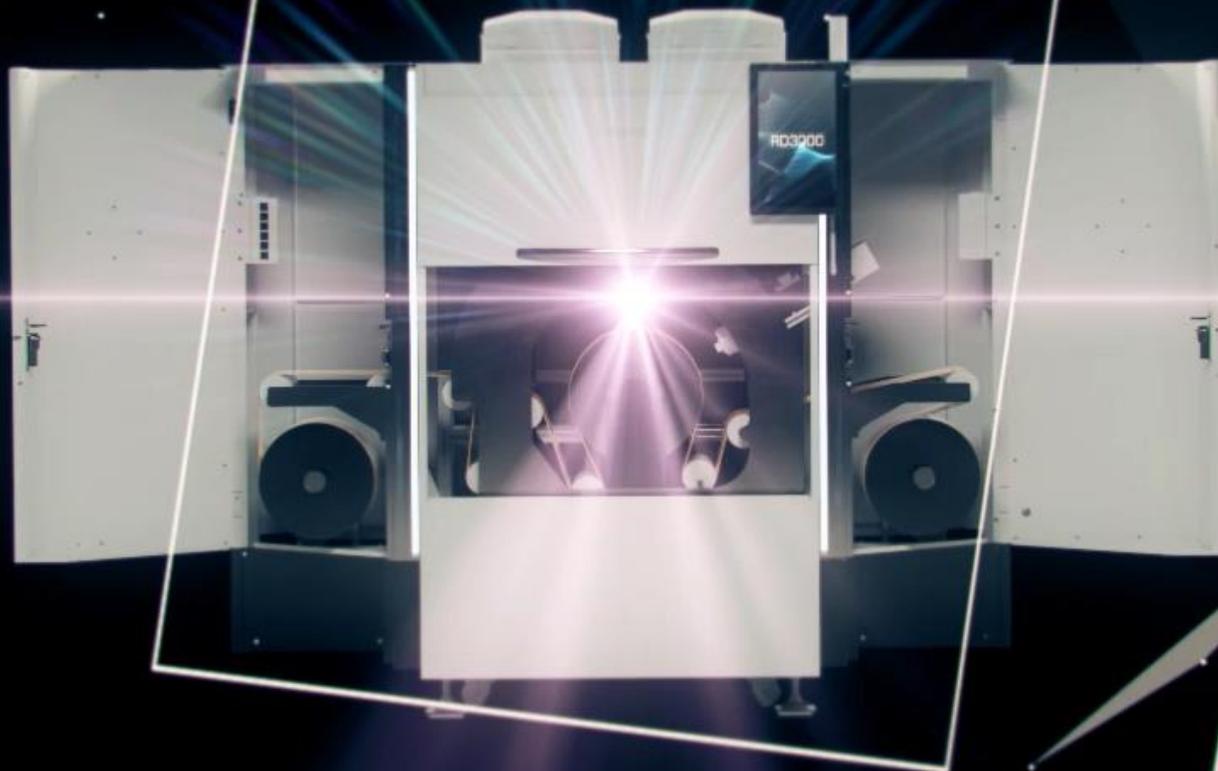
FPC用ロール to ロール型AOI (RA7100) ～外観～

業界最小クラスのフットプリントを実現！



FPC用ロール to ロール型AOI

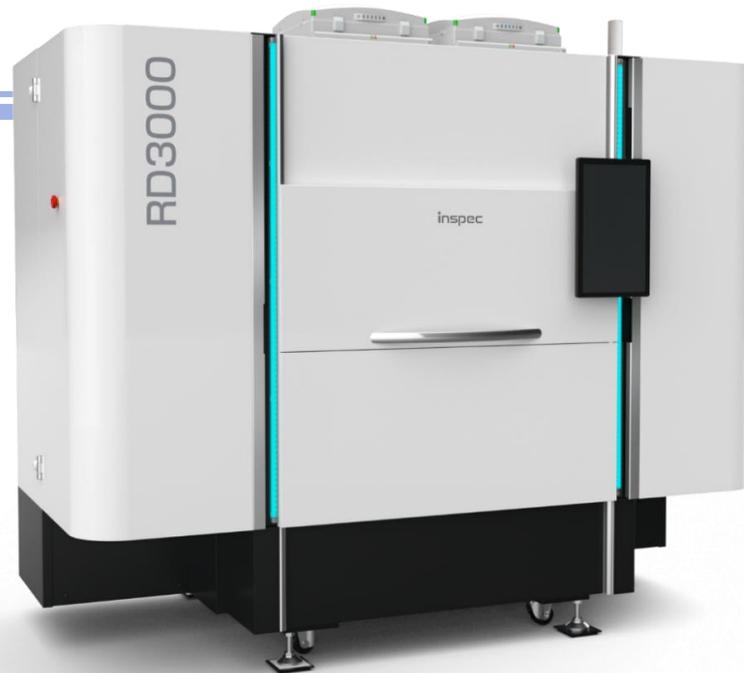




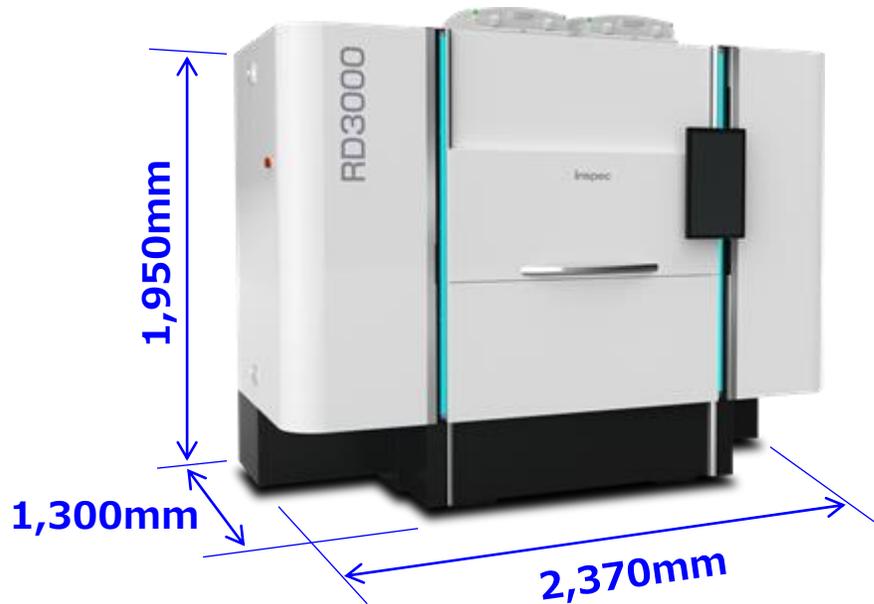
ロール to ロール型直描露光機

新事業のご紹介

ロール to ロール型 シームレスレーザー直描露光機 RD3000



RD3000 ～スペック表～



主なスペック

- レーザー光源 : 波長405nmの半導体レーザー
- 最小L / S : 100 μ m/100 μ m
- 露光速度 : 20mm /秒
- 最大露光幅 : 250mm
- 最大露光長 : 6,000mm (条件により100mも可)
- 露光面 : 片面露光
- 個別 I D 露光 : 有り (データマトリックス、英数24文字)
- 装置寸法(mm) : W=2,370、H=1,950、D=1,300

RD3000の特徴（1）

ロールtoロール式DIの優位点

- ✓ 止まらず、連続露光で生産性アップ（チョコ停なし、ウサギとカメのカメ🐢）
- ✓ 長尺のみならず、小物パターンも対応可
- ✓ 品種切り替えは自動で可能（長時間自動運転）
- ✓ ブロック単位で個別IDの付与が可能
- ✓ 低ランニングコスト（半導体レーザー使用でメンテナンスコストを激減）
- ✓ 低エネルギー消費でCO2削減に貢献（半導体レーザーで低エネルギー消費）

RD3000の特徴 (2)

➤ 長尺シームレス露光

- ・露光長 = 6m × 露光幅 = 250mmの任意パターン
- ・条件により100mのシームレス露光も可

➤ 高速露光機構

- ・露光速度20mm/s
- ・連続送り露光（停止、吸着、位置合せ、サイクル毎の材料入替等が不要）

➤ ミニмумフットプリント

- ・本体以外の付帯設備なし（オールインワン）
- ・ローダー/アンローダー機能内蔵

➤ 低ランニングコスト

- ・半導体レーザーの使用で低ランニングコスト

➤ 2次元コードトレサビリティ

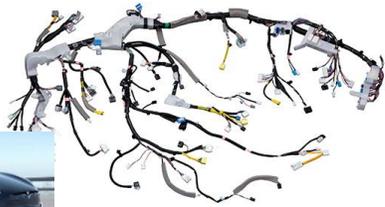
- ・ピース単位で2次元コードの露光が可能

カーボンニュートラルに向けて

- 自動車の電子機器配線が一気に増加し、ワイヤーハーネスはFPCへ

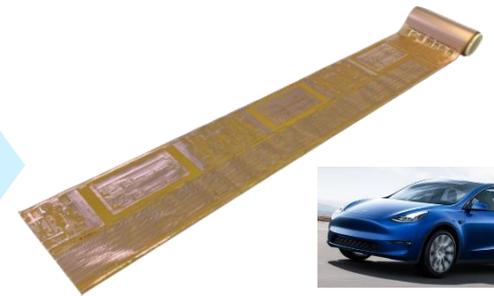


- ワイヤーハーネスのFPC化により軽量化が実現可能

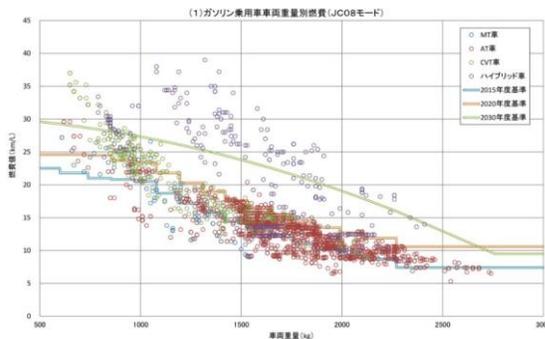


米テスラ社の検討

ワイヤハーネスの総延長は「Model S」が3,000m、「Model 3」が1,500mあるが、FPC化することにより「Model Y」ではその総延長がわずか100mとなり、大幅な軽量化・品質向上・コストダウンを実現した。



- 車両の軽量化により省エネに貢献



左図はガソリン車の重量と燃費の関係を表したグラフである。この図から当社が試算したところによると、車体重量が**30kg軽量化**すると、自動車の**燃費が2.68%向上**する。ワイヤーハーネスがFPCに置き換わることで自動車の重量が軽減でき、環境性能の向上に貢献することが可能となる。



直描露光機 次世代モデル開発計画

ファインパターン対応 後継モデル開発着手



自動化

高精細化

高速化

2023年
リリース

RD5000

自動車向け省エネルギー効果を生むワイヤハーネス代替部品の軽量化技術の開発

NEDO(※) 戦略的エネルギー技術革新プログラムに採択

※NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

参考仕様

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ○ レーザー光源 | : 波長395nmの個体レーザー |
| ○ 最小L/S | : 25μm/25μm |
| ○ 露光速度 | : 30mm/秒 |
| ○ 最大材料幅 (露光幅) | : 520mm (500mm) |
| ○ 露光面 | : 両面露光 |
| ○ アライメント | : 複数アライメントマークによる歪補正方式 |
| ○ 個別ID露光 | : 有り (データマトリックス、英数24文字) |
| ○ 最大露光長 | : 6m (条件付きで100mも可能) |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちインспекクは「誰一人取り残されない社会」を目指し、
その繁栄と発展に貢献してまいります。



- ✓ NPO法人カタリバへの寄付
- ✓ ガスヒートポンプエアコンの採用
- ✓ 全社の照明をLED化へ

- ✓ 露光機の開発でCO2削減への貢献
- ✓ 地域行事への社員の参加による協賛
- ✓ ゴミ、産業廃棄物の徹底したリサイクル

- ✓ 全社員へ月刊誌『致知』を配布し、毎月社内木鶏会を実施
- ✓ 全社員のWebセミナー受講を継続
- ✓ 自分の頑張りが会社の成長につながる、チャレンジし続けるワクワク感の創出

ご清聴ありがとうございました。

インスペックは、世界におけるオンリーワン企業を目指し、
チャレンジを続けてまいります。

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。